

# ハマヒエガエリ

*Polypogon monspeliensis* (L.) Desf.

イネ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

## 選定理由

もともと稀産の種で、今回の調査で現存が確認された生育地は能登島および南加賀区の2ヶ所のみ。本県の分布は日本海側の北限にあたる隔離分布である。(現況:R-)

## 形態

高さ30~80cm。ヒエガエリと比べ、円錐花序はより密になり、淡緑色。包穎の先の芒は包穎の2~3倍(ヒエガエリは包穎とほぼ同長)。

## 国内分布

本州(関東地方以西)~琉球。隣県では福井県(三国町)で記録されている。

## 県内分布

中能登区(能登島、七尾市松百)、南加賀区(白山市松任地区)。七尾市松百の記録は1970年代に採集された標本にもとづく。

## 生態など

一年生草本(越年草)。花期は5~7月。

## 生育環境

平地や海浜の水湿地や河川敷など。

## 危険要因

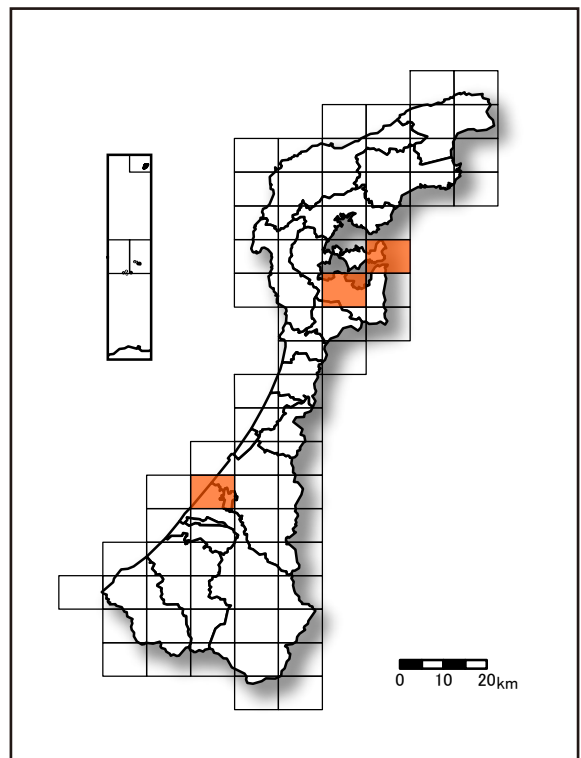
海岸開発、土地造成、帰化競合、産地局限。能登島の生育地はセイタカアワダチソウの侵入が目立ち、白山市の生育地は、クロマツ植林や土地造成が進み、いずれも危機的な状況にある。一年草であるため個体群の消長が著しく、生育に適した環境を長期的に維持することが難しい。

## 特記事項

生育地の一部は能登半島国立公園内にある。  
渡辺定路. 2003. 改訂増補 福井県植物誌. 福井新聞社.



小野ふみゑ・1996年6月16日・白山市



県内の分布